

こどもの国線の歴史

- 1941年 田奈弾薬庫引き込み線になる
- 1945年 米軍に接収される
- 1950年 朝鮮戦争が始まり、再び引き込み線として利用される
- 1959年 皇太子明仁親王の結婚を記念して、こどもの国の計画がたつ。
- 1967年 2年前に開園したこどもの国へのアクセス路線として、こどもの国線として開業する。

子供達の夢をのせて こどもの国鉄道



長津田駅から、こどもの国までを結び、たくさんの人々にぎわう、こどもの国線。子供達の夢をのせて、走る電車だ。戦時中この一部は、現在こどもの国となつて、いる東京陸軍兵器補給廠、田奈部隊、同墳墓通称田奈弾薬庫の引き込み線だ、た、今も使われずに残つた線路のあとが、どこどこに残つて、いる。

平和のかけ橋

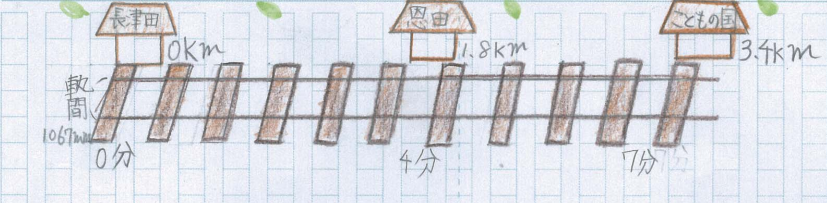
オリザ

新聞

発行所 内田有咲
2012年 夏号

今日の明るいイメージとは異なり、引き込み線として使われていた時代には、弾薬が爆発するなど、痛ましい事故が起こつた。まさに、戦争の悲劇を象徴するものでもあつた。園内の平和を祈る碑より、私たちがこの工場で砲弾を作る作業につきました。その砲弾が地球上のどこかを傷つけたのではないかと思うと、とても恐ろしい気持ちです。戦争を再び起こしてはなりません。この思いをこめて平和を祈る碑をたてました。平和な世界の中で子どもたちがのびのびと育ちますように。

今日の明るいイメージとは異なり、引き込み線として使われていた時代には、弾薬が爆発するなど、痛ましい事故が起こつた。まさに、戦争の悲劇を象徴するものでもあつた。園内の平和を祈る碑より、私たちがこの工場で砲弾を作る作業につきました。その砲弾が地球上のどこかを傷つけたのではないかと思うと、とても恐ろしい気持ちです。戦争を再び起こしてはなりません。この思いをこめて平和を祈る碑をたてました。平和な世界の中で子どもたちがのびのびと育ちますように。



横浜高速鉄道保有
東京急行電鉄運輸
全線単線
車内信号閉塞式



こどもの国線 データ

1日あたりの乗降客数

こどもの国線	
長津田駅	11571人 前年比増
恩田駅	894人 前年比1.2%減
こどもの国駅	10680人 前年比1.3%増

その他各線

田園都市線	1167275人 前年比0%
東横線	111万4571人 前年比0.4%減
目黒線	32万4052人 前年比0.7%増

戦後、こどもの国への直通路線として運行され、こどもの国の開園時間のみ運行していた。だが、沿線地域の宅地化が進み、交通渋滞が慢性化したことにより列車の運行時間帯拡大

たぐさんの平和への思いが、つまたこどもの国鉄道。戦争は、二度と起こしてはならないと、砲は伝える。その戒めもこめて、かつて砲弾という人を殺す武器を運んで来た電車の、こどもたち、その家後、私達が笑顔でこの電車にのれる幸せに、感謝したい。

東急電鉄ホームページより 2011年度

初代 東急3000系	デハ 3405	クハ 3866
2代目 東急3600系	デハ 3668	クハ 3792
3代目 東急720系	デハ 7200	クハ 7500

その発展

一九九七年、横浜高速鉄道が工事に着手。二〇〇〇年に通勤路線化、休日ダイヤを廃止すると共に、恩田駅の営業を開始した。十二周年となった今、こどもの国線は地域の路線として、地元で定着している。

